

菊池溪谷に生息する鳥類

菊池溪谷には、年間を通して 60 種以上の鳥類が生息する。その多くは人間を避け、溪谷の上流域を好んで生息している。しかし、この地域の鳥類を垣間見ることは可能であり、特に夏には、いくつかの特徴的な鳥の鳴き声を聞くことができる。

菊池川周辺の木々には、背中と翼が灰色、腹が栗色、頭が白黒の**ヤマガラ**、背中が黄緑色、翼が青灰色、頭が黒で頬が白い**シジュウカラ**、薄茶と灰色で、ずんぐりしたくちばしを持つ**エナガ**などが一年中普通に生息している。水辺では、背中が灰色で腹部が鮮やかなレモンイエローの**キセキレイ**や、体長 40cm ほどで頭に尖った羽を持つ白黒の**ヤマセミ**もよく見かける。

晩春から夏にかけては、渡り鳥の鳴き声が溪谷を包み込む。色鮮やかで流麗でメロディアスな鳴き声を持つ**オオルリ**、「クワー・クワー・クワー・クワー」と 4 部構成の鳴き声を繰り返す**ホトトギス**などがある。

静けさが溪谷を包む冬には、背中が褐色で腹部が白っぽく、灰色と黄色のくちばしを持つ**シロハラ**が餌を求めて落ち葉をついばむ姿を見ることができる。また、裸木の間に上品な**ヤマドリ**を見かけることもある。